

第12表

社会福祉施設数・収容者数

本表は生活保護法、児童保護法等によるもので各年とも12月末現在のものであるが、児童相談所は12月中の受付件数である。

区分	昭和35年		昭和36年			昭和36年		
	施設数	収容人員	施設数			収容人員		
			総数	大阪府が監督するもの	大阪府が監督するもの	総数	大阪府が監督するもの	大阪府が監督するもの
総数	504	-	522	327	195	-	-	-
養老施設	26	2 430	25	20	5	2 401	1 840	561
救護施設	4	281	5	4	1	284	234	50
宿舎施設	12	1 540	12	3	9	1 385	444	941
授産施設	6	837	7	1	6	793	54	739
医療施設	2	7	2	1	1	6	6 (一般利用者10)	-
婦人保護施設	20	1 688	19	13	6	1 997	1 124	873
児童養護施設	5	191	5	4	1	186	143	43
精神薄弱児施設	6	190	6	3	3	189	48	141
精神薄弱児通園施設	41	3 460	41	30	11	3 319	853	2 466
精神薄弱児通園施設	7	302	8	5	3	399	145	254
救護施設	1	50	1	1	0	51	30	21
救護施設	1	220	2	1	1	319	93	226
救護施設	1	97	1	1	0	97	36	61
救護施設	1	39	1	0	1	37	23	14
救護施設	1	30	1	0	1	33	9	24
児童厚生施設	13	-	27	20	7	-	-	-
児童厚生施設	8	5	8	4	4	-	-	-
母子生活支援施設	27	524世帯547	27	21	6	501世帯1 480	280世帯850	221世帯630
児童相談所	312	19 455	312	185	127	20 085	12 375	7 710
児童相談所	7	896	7	6	1	867	385	482
身体障害者施設	3	114	3	2	1	122	70	52
精神薄弱者保護施設	1	0	1	1	-	19	19	-
結核回復者後保護施設	1	56	1	1	-	65	65	-

資料 大阪府民生部社会課、児童課、福祉防災課、大阪市民生局庶務課。

第13表

結婚あつせん状況

本表は「厚生省報告例」にもとずいて作成された各年度中のものである。

年次	相談件数			申込件数			照会組数 (見合)	成立組数
	総数	男	女	総数	男	女		
昭和32年度	18 221	7 667	10 554	2 649	999	1 650	1 671	142
33	18 680	7 871	10 809	2 506	914	1 592	1 544	162
34	18 087	7 090	9 997	2 490	997	1 493	1 451	186
35	16 486	7 050	9 436	2 570	936	1 634	2 524	380
昭和36年度	16 596	7 557	9 039	2 709	1 096	1 613	2 312	372

資料 大阪府立結婚相談所。

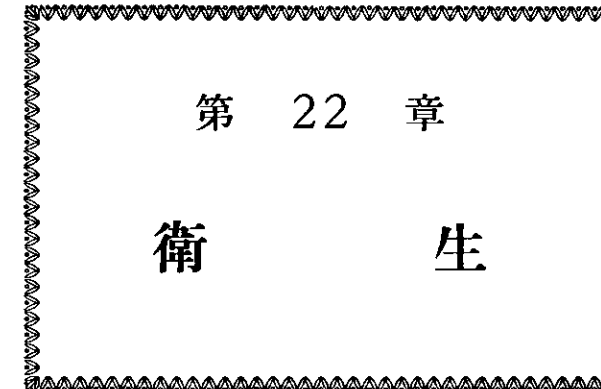
第14表

共同募金額・配分額

各年とも配分総額には前年度募金終了後の利息、繰越金、御下賜金を含むため募金額とは一致しない。

区分	募金額				区分	配分額			
	昭和33年	昭和34年	昭和35年	昭和36年		昭和33年	昭和34年	昭和35年	昭和36年
総額	81 906	86 512	100 435	88 438	総額	81 939	86 623	86 320	88 641
戸別募金	61 049	64 550	60 665	66 012	社会福祉施設	27 991	26 546	26 870	26 486
別校募金	5 331	5 944	6 960	6 758	保育所	2 909	4 028	4 258	3 798
学頭募金	2 665	3 838	5 559	5 758	児童遊園地	777	760	2 852	720
街頭募金	163	99	3 544	3 484	児童遊園地	1 754	1 737	1 511	1 511
パソナの収益金	4 116	3 335	9 448	8 513	社会福祉連絡団体	2 071	1 545	1 555	1 455
その他	8 581	8 745	14 259	4 671	府市社会福祉協議会	5 702	5 650	5 650	5 350
					更生援護資金	8 421	8 420	8 341	7 468
目標額	70 000	70 000	70 000	86 000	地域社会福祉協議会	18 659	23 104	24 514	24 151
					その他	13 656	14 833	12 280	17 701

資料 社会福祉法人大阪共同募金会。



第22章 衛生

病院、病床等の概況

府下の医療施設は前年の6,813所から117(1.7%)増加し、昭和36年末現在で6,930所、人口10万に対しては120施設、1医療施設あたりの人口は約830人となった。医療施設総数6,930所の内訳は病院342(4.9%)、一般診療所4,601(66.4%)、歯科診療所1,987(28.7%)で、これら医療施設の有する病床総数は約5万2千床、前年の4万9千床に対し約3千床(5.0%)の増加となり、人口10万に対し905床、1病床あたり人口は111人となっている。さらに、病床総数の約88%を占める病院の病床数をその区分(一般病院の精神病床、結核病床、伝染病床は特殊病院のそれにふり分ける)によってみると、総数約4万6千床のうち一般病床は54.2%、結核病床は29.7%となり、この両者で83.9%に及んでいる。なお、精神病床は13.8%、伝染病床は2.3%となっているが、近時国民の衛生知識ならびに予防衛生技術等の進歩向上により、伝染病床は年々減少の傾向をつづけている。

36年の年間在院患者延数(診療所関係は含まない)は1,413万7千人で、1日あたり約3万9千人となり、人口10万対の1日あたりでは673人を数えている。また1日あたり約3万9千人の在院患者の内訳は、精神病床7.5千人、結核病床1万1千人、伝染病床0.3千人、一般病床約2万人である。

新入院患者数は年間27万8千人で、その1日あたりは762人となる。一方、年間外来患者延数は2千万人の大きな数にのぼり、1日あたりでも約5万5千人に及んでいるが、特殊病院は病気の性質上外来はきわめて少なく、そのほとんどは一般病院の患者である。

なお36年末現在でおもな医療関係従事者数をみると、府下医療施設に従事する医師は8,168人、同じく歯科医師2,536人、薬剤師6,833人といずれも前年にくらべやや増加の傾向にあり、人口10万に対しては医師143人、歯科医師44人、薬剤師120人となった。またその他の医療従事者数も大体増加の傾向にある。

死亡の概況

人口増加の要因である出生数は、このところ増加する傾向にあるのに対し、死亡数は32年7.1(人口千対)、33年6.5、34年6.3、35年6.4、36年6.1とここ数年停滞状態にある。死亡数を死因別にみると、「中枢神経系の血管損傷」がもっとも多く6.1千人(17.6%)、ついで「悪性新生物」5.5千人(15.6%)、「精神病の記載のない老衰、診断名不明確、不明の原因」3.7千人(10.4%)、「動脈硬化性、変性性心臓疾患」2.4千人(6.9%)、

「結核」2.1千人(6.0%)となり、これらで全体の約半数56.5%を占めるとともに、前年同様成人病関係の死亡数の増加がめだっている。なお、「結核」は結核予防対策の普及により、漸減傾向にあるといわれているにもかかわらず、依然として死因別統計では上位の5位にランクされ、36年末現在での登録患者はなお12万人余を数えている。

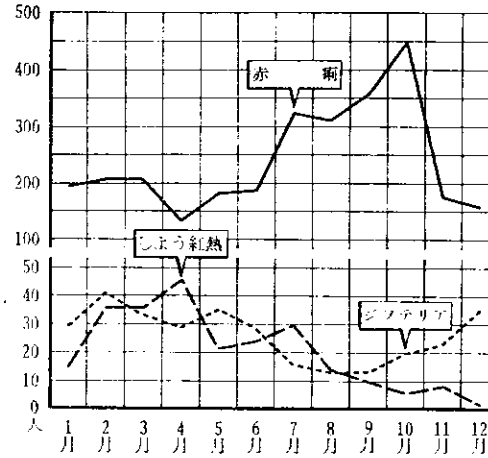
伝染病患者の概況

府下における法定伝染病患者数は減少傾向にあり、36年では3.6千人と前年より約400人の減をみせた。法定伝染病のうち、毎年もっとも発生率の高い「赤痢」についてみると、本年は2.9千人で総数の79.6%を占め、32年以後年々増加をつづけてきたが、本年に至ってやや下向きを示した。つぎに、昨年全国的に流行した「急性灰白髄炎」(小児まひ)は6月から8月にかけて多く発生し(府下ではこの間91人の患者が発生)、9月からは患者が急激に減少したが、これはソークワクチンと輸入された生ポリオワクチンの効果が相乗的に作用したものである。

一方、届出伝染病は1万1千人で前年にくらべ5.7千人の減少となった。本年の特色を拾ってみると、「マラリア」が全国22人の届出のうち大阪府だけで13人を数え、「ましん」は隔年流行型であるというのを実証するかのようになり、本年は1,876人で748人の増となった。また「インフルエンザ」は本年1月大阪の流行にはじまり、2月から4月にかけてほとんど全国的にひろがり、5月にはおさまったが、年間8.5千人の患者を出した。しかしながら多発をみた前年より5,628人の減少を示している。「結核」は年々減少をつづけ、本年は3万8千人と前年より約5千人の減となっているが、東京都の3万3千人を上回って、全国都道府県中最高位というかんばしくない成績を残している。なお、「結核」の患者数は全伝染病患者数約5万4千人のうちその7割、死亡者数でも全伝染病死亡者数2.4千人のうち約9割を占めるという高率である。

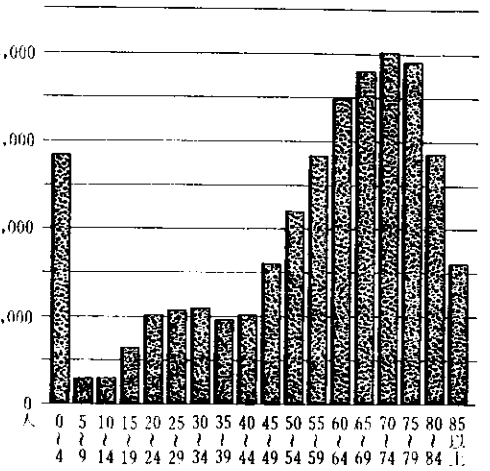
法定伝染病による罹患数

第17表参照



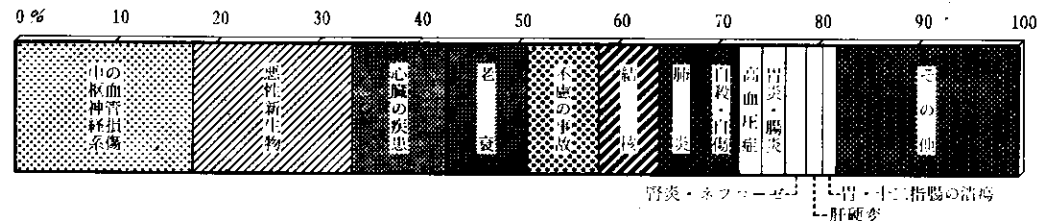
年齢別にみた死亡者数

第22表参照



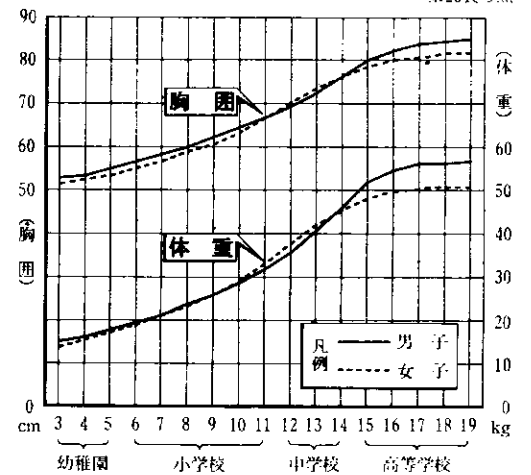
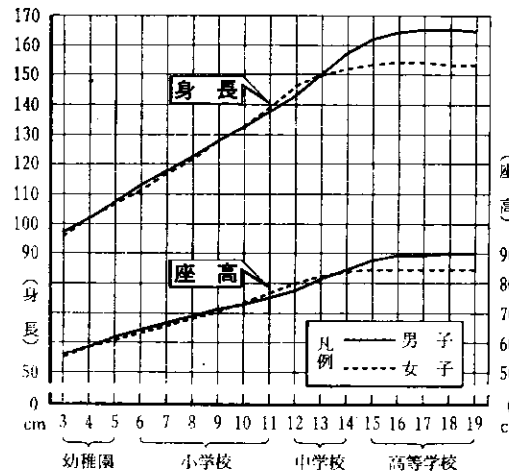
主要死因別死亡者数の割合

第22表参照



年齢別にみた幼児・児童・生徒の平均体位

第23表参照



第1表

病院・診療所数および病床数

本表の数字は「医療施設調査」によるものである。なお、「病院」とは患者20人以上の収容施設のあるものをいい、「診療所」とは患者の収容施設をもたないもの、または患者19人以下の収容施設しかもたないものをいう。らい療養所は該当がないので省略した。

Table with columns for year (昭和32, 33, 34, 35, 36), hospital types (精神病院, 結核療養所, 伝染病院, 一般病院), and bed counts (施設, 病床).

資料 大阪府衛生部医務課、厚生省大臣官房統計調査部「病院年報」、「病院報告」、「医療施設調査」

第2表 医師・歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士・獣医師数

本表の医師、歯科医師、獣医師数は医師法、歯科医師法、獣医師法にもとづくそれぞれの届出数を集計したものであり、歯科技工士、歯科技工士数は「厚生省報告例」によるものである。なお、獣医師数(居住地主義)を除いて、いずれも従業地主義によるものである。

Table with columns for year (昭和32, 33, 34, 35, 36), professions (医師, 歯科医師, 歯科衛生士, 歯科技工士, 獣医師), and counts (総数, 医療施設開設者, 医療施設勤務者, etc.).

資料 大阪府衛生部医務課、同農林部畜産課、厚生省大臣官房統計調査部「医療施設調査」、「衛生行政業務報告」

第3表 薬剤師・保健婦・助産婦・看護婦・準看護婦・看護人数

本表の薬剤師数は薬剤師法にもとづく届出数を集計したものであり、保健婦、助産婦、看護婦、準看護婦、看護人数は「厚生省報告例」によるものであり、いずれも従業地主義によるものである。

Table with columns for year (昭和32, 33, 34, 35, 36), professions (薬剤師, 保健婦, 助産婦, 看護婦, 準看護婦, 看護人), and counts (総数, 医療施設開設者, 医療施設勤務者, etc.).

資料 大阪府衛生部医務課、厚生省大臣官房統計調査部「医療施設調査」、「衛生行政業務報告」

第4表 その他の医療、衛生関係従事者数

本表の診療X線技師、衛生検査技師数は「医療施設調査」による従事者。衛生管理者数は労働基準法による免許証所有者。栄養士数は「栄養士法」による届出数を集計したもの。乳業士数は「乳等の販売及び取扱に関する条例」(大阪府)による甲種、乙種の免許証所有者。眼鏡士数は大阪府衛生協会への登録者。調理師数は「調理師法」にもとづく免許証所有者。あんま師、はり師、きゅう師、柔道整復師数は「厚生省報告例」によるものである。

Table with columns for year (昭和32, 33, 34, 35, 36), professions (診療X線技師, 衛生検査技師, 衛生管理者, 栄養士, 乳業士, 眼鏡士, 調理師, あんま師, はり師, きゅう師, 柔道整復師), and counts.

資料 大阪府衛生部医務課、同食品衛生課、同予防課、大阪労働基準局。

第5表

病院の在院患者延数および病床利用率

本表は医療法にもとづく「病院報告」によるものである。なお、在院患者延数は毎日午後12時現在に在院している患者数を1年分合計したもの。病床利用率は(1日当り平均在院患者数/年末病床数)×100である。本表は病床の種類によるものであるから病床区分は病院のそれを必ずしも意味しない。

Table with columns for year (昭和32, 33, 34, 35, 36), hospital types (精神病床, 結核病床, 伝染病床, 一般病床), and bed utilization rates (総数, 精神病床, 結核病床, 伝染病床, 一般病床).

資料 大阪府衛生部医務課、厚生省大臣官房統計調査部「病院年報」、「病院報告」

第6表

病院の入院患者数および外来患者延数

本表は医療法にもとづく「病院報告」によるものである。なお、外来患者延数は来院、往診、巡回診療をした患者延数で、同一患者が2つ以上の診療科で受診した場合それぞれ1として計上してある。本表は病床の種類によるものであるから病床区分は病院のそれを必ずしも意味しない。

Table with columns for year (昭和32, 33, 34, 35, 36), hospital types (精神病床, 結核病床, 伝染病床, 一般病床), and patient counts (総数, 精神病院, 結核療養所, 伝染病院, 一般病院).

資料 大阪府衛生部医務課、厚生省大臣官房統計調査部「病院年報」、「病院報告」

第7表

人工妊娠中絶件数

本表の数字は優生保護法にもとづく医師の届出票を集計したものである。

Table with columns for year (昭和32, 33, 34, 35, 36), age groups (20歳未満, 20~24歳, 25~29歳, 30~34歳, 35~39歳, 40~44歳, 45~49歳, 50歳以上), and abortion counts (総数, 年齢不詳).

資料 大阪府衛生部医務課「人工妊娠中絶半年報」

第8表

食品衛生関係営業施設数

本表の数字は「厚生省報告例」によるものである。

Table with columns for year (昭和32, 33, 34, 35, 36), facility types (飲食店, 喫茶店, 菓子製菓業, アイスクリー姆類製造業, 市乳(乳類)販売業, 食肉販売業, 魚介類販売業, 清涼飲料水製造業, 氷雪販売業, みそ、醤油、ソース製造業, 酒類製造業), and counts (総数, 許可を要しない営業施設).

資料 大阪府衛生部食品衛生課。

第9表 と畜場・牛乳処理業数、と畜・乳牛検査頭数 および狂犬病予防状況、ねずみ捕獲数

本表のと畜場数、と畜検査頭数、牛乳処理業数、狂犬病予防状況は「厚生省報告例」によるものである。乳牛検査頭数は家畜伝染病予防法にもとづく検査頭数、ねずみ捕獲数は本府でまとめた数字である。

Table with columns for year, number of farms, inspection headcount (cows, horses, pigs), milk processing industry, rabies prevention status, and rat capture counts.

資料 大阪府衛生部食品衛生課、同環境衛生課、同農林部畜産課、厚生省大臣官房統計調査部「衛生行政業務報告」

第10表 環境衛生関係営業施設数および従事者数 (1)

本表の数字は「厚生省報告例」によるものである。

Table showing environmental hygiene related business facilities and staff counts, categorized by facility type (lodging, public bath, etc.) and staff count.

資料 大阪府衛生部環境衛生課、厚生省大臣官房統計調査部「衛生行政業務報告」

第11表 環境衛生関係営業施設数 (2)

本表の数字は「厚生省報告例」によるものである。但し、くず物関係営業施設数は「大阪府くず物営業取締条例」にもとづく許可施設数である。

Table showing environmental hygiene related business facilities, including incinerators, landfills, and waste management facilities.

資料 大阪府衛生部環境衛生課、厚生省大臣官房統計調査部「衛生行政業務報告」

第12表 公害陳情受付件数および処理件数

本表の数字は各年度ごとに本府でまとめたものである。但し、公害の処理には次年度にまたがる場合があるので、処理件数は各年度の陳情受付件数に対するものでなく、その年度に処理した件数を表わしている。

Table showing公害陳情 (public nuisance complaints) and their processing, categorized by type of complaint (noise, vibration, dust, etc.).

資料 大阪府商工部公害課。

第13表 結核予防法による健康診断状況

本表は「保健所運営報告」によるもので、結核予防法にもとづく定期、定期外の合計である。

Table showing tuberculosis prevention health check status, including number of patients, BCG vaccinations, and chest X-rays.

資料 大阪府衛生部予防課、厚生省大臣官房統計調査部「保健所運営報告」

第14表 性病、予防接種、寄生虫、トラホーム予防状況

本表は「保健所運営報告」によるものである。予防接種被接種者数は予防接種法にもとづく定期、臨時の合計である。寄生虫検査の有卵者数のうち、1人で2種以上にわたるものはそれぞれに計上してある。

Table showing STD, vaccination, parasite, and trachoma prevention status, including vaccination counts and parasite inspection results.

資料 大阪府衛生部予防課、厚生省大臣官房統計調査部「保健所運営報告」

第15表 衛生検査延件数

本表の数字は「厚生省報告例」によるものである。

Table showing the number of delayed health inspection cases, categorized by type of inspection (bacteriological, tuberculosis, etc.).

資料 大阪府衛生部環境衛生課、厚生省大臣官房統計調査部「衛生行政業務報告」

第16表 薬事関係業者数

本表の薬事関係製薬業、輸入販売業数は「薬事法」にもとづく許可事業所数、薬事関係販売業数は「厚生省報告例」によるものである。

Table showing the number of pharmaceutical related business operators, categorized by type of business (manufacturing, distribution, etc.).

資料 大阪府衛生部薬務課、厚生省大臣官房統計調査部「衛生行政業務報告」

第 17 表

法定・指定伝染病患者

本表の数字は医師の届出数を集計した「伝染病統計」によつたもので、患者は真性のみ、死亡者は疑似を
ある。罹患率は人口10万対で表わしているが各月については算出してない。また、コレラ、痘そう、発し

Table with columns for year/month, total cases, and specific diseases like typhoid, cholera, and others. Includes data for 昭和32-35 and 昭和36年.

資料 大阪府衛生部医務課、厚生省大臣官房統計調査部「衛生年報」、「伝染病簡速統計週報」

第 18 表

届出伝染病患者数、罹

前表頭注参照のこと。なお、黄熱、狂犬病、つづが虫病、回帰熱、住血吸虫病は各年とも該当がないので

Table with columns for year/month, total cases, and specific diseases like malaria, shingles, and influenza. Includes data for 昭和32-35 and 昭和36年.

資料 大阪府衛生部医務課、厚生省大臣官房統計調査部「衛生年報」、「伝染病簡速統計週報」

数、罹患率および死亡者数

含んでいる。なお、昭和36年の数字は本府で集計した概数であるが、(a)についての各年の内訳は同様に概数で
んチフス、ベストは各年とも該当がないので省略した。

Table with columns for diseases like typhoid, cholera, and others, showing patient counts, incidence rates, and deaths. Includes data for 昭和32-35 and 昭和36年.

患率および死亡者数

省略した。

Table with columns for diseases like typhoid, cholera, and others, showing patient counts, incidence rates, and deaths. Includes data for 昭和32-35 and 昭和36年.

第19表

性病・結核・らい・食中毒患

前表頭注参照のこと。なお、全結核は本省発表の確定数であるが、その内訳は本府で集計したものである

Table with columns for year/month, sex, and disease categories (梅毒, りん病, 軟性下かん, そけいりんば肉芽しゆ症, 全結核). Rows include years 32-36 and months 1-12.

資料 大阪府衛生部医務課、厚生省大臣官房統計調査部「衛生年報」、「伝染病簡速統計週報」

第20表

市郡別、年齢階

本表は「人口動態調査」によつた府下の日本人に於けるものである。なお、昭和36年の数字は本府で

Table with columns for city/county, total population, and age groups (1歳未満, 1~4歳, 5~9歳, 10~14歳, 15~19歳, 20~24歳, 25~29歳, 30~34歳). Rows list various municipalities and counties.

資料 大阪府衛生部医務課、厚生省大臣官房統計調査部「人口動態統計」

者数、罹患率および死亡者数

るため、32年、33年、34年の死者数の計は合致しない。

Table with columns for disease categories (結核, 呼吸器, その他, らい, 食中毒) and sub-columns for number of patients and death toll. Rows show monthly data for years 32-36.

級別死亡者数

集計した概数である。

Table with columns for age groups (35~39歳, 40~44歳, 45~49歳, 50~54歳, 55~59歳, 60~64歳, 65~69歳, 70~74歳, 75~79歳, 80歳以上, 年齢不詳) and rows for death counts.

男女別、月別、死

本表は「人口動態調査」によつた府下の日本人に於けるものである。なお、死因分類は国際疾病、傷害

Table with columns for Cause of Death (死因), Year (昭和32年, 昭和33年, 昭和34年, 昭和35年), and Sex (男, 女). Rows include categories like 呼吸器系の結核症, 赤痢, 急性灰白髄炎, etc.

資料 大阪府衛生部医務課、厚生省大臣官房統計調査部「人口動態統計」

因別死亡者数

および死因統計分類にもとづいている。昭和36年の数字は本府で集計した概数である。

Table showing monthly death counts by cause (和, 36年) for months 2 through 12. Columns include 2月, 3月, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月, 10月, 11月, 12月.

年 齡 階 級 別、死

本表は「人口動態調査」によつた府下の日本人に於けるもので、本府で集計した昭和36年の概数である。

死 因	総 数	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳
総 数	35 130	2 259	577	284	293	672	988	1 088
呼吸器系の他の続発	1 976	3	4	1	4	18	56	138
結核症スラ	148	8	13	4	5	13	5	12
梅毒	123	-	-	-	-	-	1	-
その他	4	-	-	-	-	1	-	-
赤痢	50	2	11	7	3	1	4	1
傷寒	1	-	-	-	1	-	-	-
細菌性口炎	4	-	3	1	-	-	-	-
百日咳	3	3	-	-	-	-	-	-
髄膜炎	10	2	1	-	-	1	-	2
急性灰白髄炎	9	1	4	-	-	-	1	-
麻疹	64	32	19	10	2	-	-	-
その他のリケッチャ	-	-	-	-	-	-	-	-
マラリア	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性、寄生性として分類されたその他の疾患	152	25	6	7	15	10	6	5
悪性、良性、性質不詳の新生腫瘍	5 489	9	25	18	30	34	24	53
糖尿病	315	3	2	3	5	6	19	7
貧血	189	-	-	-	-	1	4	5
中枢神経系の血管損傷	66	-	2	-	1	4	5	3
脳卒中	1 194	4	3	3	5	8	9	12
慢性リウマチ性心臓疾患	63	15	6	2	4	2	6	6
慢性的リウマチ性心臓疾患	50	-	1	2	8	3	1	7
慢性的リウマチ性心臓疾患	159	-	-	4	7	7	11	7
動脈硬化性、変性性心臓疾患	2 415	14	6	6	12	24	34	44
他の高血圧性心臓疾患	722	8	1	1	4	8	12	16
その他の高血圧性心臓疾患	318	-	-	-	-	-	-	-
その他の高血圧性心臓疾患	516	-	-	-	1	-	1	3
その他の高血圧性心臓疾患	64	13	1	2	2	-	-	-
肺炎	1 408	459	85	20	17	14	25	19
気管支炎	290	30	8	3	5	-	3	1
胃腸炎	487	-	1	-	2	7	3	14
虫腸炎	61	-	1	4	6	4	9	3
閉塞、ヘルニア	230	67	11	4	3	3	4	5
胃腸炎、十二指腸炎、腸炎、大腸炎	788	150	52	16	8	2	4	4
肝炎	594	1	3	1	-	1	7	5
腎臓炎、ネフローゼ	712	2	9	15	10	20	27	31
妊娠、分娩、産褥の合併症	20	-	-	-	-	-	-	-
妊娠、分娩、産褥の合併症	122	-	-	-	-	1	19	40
先天性の損傷、分娩後窒息、肺不全	192	145	24	3	2	1	5	3
出生時の損傷、分娩後窒息、肺不全	117	117	-	-	-	-	-	-
新生児の感	220	220	-	-	-	-	-	-
その他の新生児固有の疾患、性質不明の未熟児	677	676	1	-	-	-	-	-
精神病的記載のない老衰診断名不明確不明の原因	3 655	90	11	6	8	13	34	26
その他のすべての疾患	2 491	94	68	19	46	47	57	73
自動車事故	1 212	5	69	53	31	120	117	149
その他の事故	1 263	44	111	63	33	110	162	137
自殺	1 334	-	-	1	7	174	301	239
他殺、戦争行為	153	17	15	5	4	14	12	25

資料 大阪府衛生部医務課。

因 別 死 亡 者 数

なお、死因分類は国際疾病、傷害および死因統計分類にもとづいている。

30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	年齢不詳
1 088	953	995	1 573	2 138	2 765	3 398	3 745	3 985	3 876	4 451	2
194	162	141	161	202	196	233	197	145	94	27	-
7	11	11	10	16	10	7	10	3	2	1	-
2	4	7	17	17	20	19	19	10	6	1	-
1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	1	2	-	-	4	4	2	1	4	3	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	10	3	4	5	8	14	7	5	10	5	-
109	150	229	415	591	728	904	859	671	414	226	-
18	13	12	24	36	38	41	30	30	17	11	-
5	1	6	4	10	25	39	33	31	17	8	-
5	4	1	3	4	6	8	8	4	6	2	-
37	56	85	255	419	642	803	1 003	1 097	945	807	1
2	3	1	3	3	3	4	1	1	1	-	-
2	1	2	3	3	2	3	7	7	2	3	-
7	9	8	2	13	15	11	12	15	21	10	-
53	49	61	114	145	213	275	332	357	338	338	-
15	19	20	30	37	60	90	87	111	103	100	-
2	-	2	7	12	20	38	38	74	67	58	-
3	3	6	12	23	42	40	77	84	102	119	-
1	2	1	1	1	3	4	7	9	7	10	-
27	24	30	22	34	54	77	92	123	128	158	-
-	1	2	5	7	5	12	26	45	57	80	-
12	11	13	30	35	79	80	70	52	47	31	-
3	-	3	6	2	5	4	2	5	2	2	-
10	9	5	13	9	9	20	20	21	10	7	-
10	10	7	6	16	28	25	49	83	127	191	-
14	16	29	64	75	78	82	68	62	56	32	-
42	29	25	42	45	38	58	84	98	74	63	-
-	-	-	-	-	-	-	2	9	3	6	-
38	16	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-
2	-	2	3	-	-	-	-	1	1	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
93	85	68	98	150	182	230	239	307	300	335	-
90	59	63	71	77	69	73	58	64	31	12	1
95	66	61	52	45	60	59	47	33	37	48	-
127	90	38	49	48	49	56	60	46	24	25	-
24	14	2	6	4	5	2	1	2	1	-	-

第23表

幼児、児童、生徒の平均体格

本表は「学校保健統計調査」による府下学童の平均体格を示しているが、この調査は府下学校総数から幼稚園6分の1、小学校17分の1、中学校8分の1、高等学校3分の1の無作為抽出によるものである。なお、昭和25年はしつ調査である。

Table with columns for age (年齢), sex (性別), height (身長), weight (体重), chest circumference (胸囲), and sitting height (座高). Rows include preschool (幼稚園), elementary school (小学校), middle school (中学校), and high school (高等学校).

資料 大阪府総務部統計課(学校保健統計調査)

第24表 幼児、児童、生徒の比体重、比胸囲、比座高

前表頭注参照のこと。

Table showing ratios of weight, chest circumference, and sitting height for different age groups (3-19 years) across various school levels.

資料 大阪府総務部統計課(学校保健統計調査)

第25表

幼児、児童、生徒の疾病異常該当者率

前表頭注参照のこと。但し、本表は受検人員に対する該当者率を示す。なお、ゴシック体は受検率である。

Table showing the percentage of children with various diseases and abnormalities, categorized by school level and sex. Includes categories like general examination (一般検診), nutrition (栄養), and dental health (歯科).

資料 大阪府総務部統計課(学校保健統計調査)

第26表 摂取栄養量(1人1日当り)

「国民栄養調査」によるもので調査時期は年4回(5、8、11月および翌年2月)であるが、本表はその中から当該月を抜く掲載したもの。但し、府下とは豊中、泉佐野市、三島町の、大阪市とは北、天王寺、東淀川、生野、阿倍野、東住吉区の平均値で調査世帯数は35年度で405世帯、各月とも連続した3日間の状況によるものである。

Table with columns for nutrient types (Energy, Protein, Fat, etc.), units (cal, g, mg, I.U., mg), and survey periods (昭和35年8月, 昭和36年2月). Rows include Energy, Protein, Fat, Calcium, Iron, Vitamin A, B1, B2, C.

資料 大阪府衛生部食品衛生課(国民栄養調査)

第27表 府県別医療施設関係者数

本表は各年現在数で、1)、2)、3)は実務に従事するものである。4)は「医療施設調査」によるものであるが、ここでは歯科診療所を含まない。

Table showing medical facility staff counts by prefecture (府県) and year (昭和30年, 31年, 32年, 33年, 34年). Columns include categories like 医師, 歯科医師, 薬剤師, 保健婦, 助産婦, 看護婦, 病院, 一般診療所.

資料 厚生省大臣官房統計調査部「衛生年報」

第23章

司法および警察